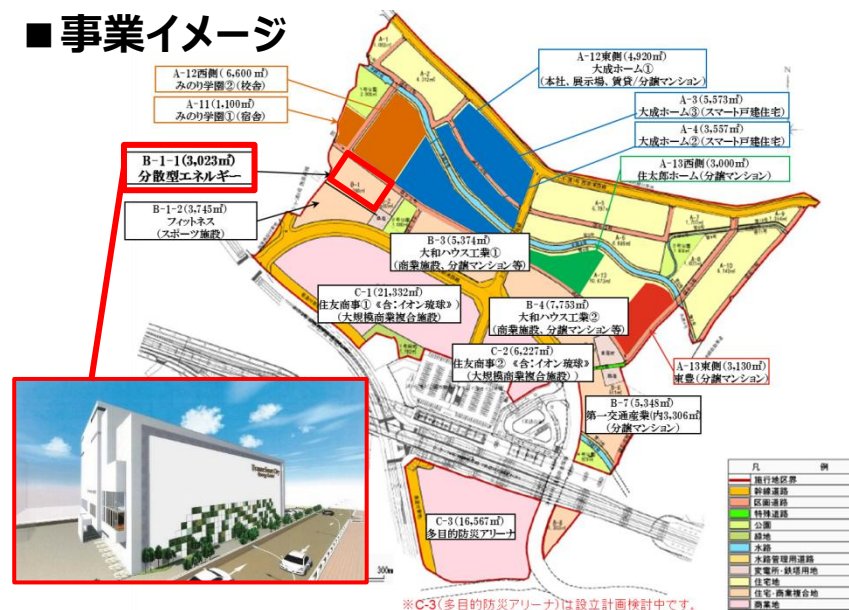


【事業名】浦添市てだこ浦西駅周辺開発地区におけるスマートシティ開発におけるエネルギー供給事業 及びエネルギーマネジメント事業

■ 事業概要

| | |
|------------------|---|
| 主な事業者 | 浦添分散型エネルギー株式会社、浦添市 |
| 事業地 | 浦添市てだこ浦西駅周辺開発地区 |
| 施設名称 | 浦添スマートシティエネルギーセンター |
| 延床（施工）面積 | 2,841.26㎡ |
| 主に利用する再・未利用エネルギー | コージェネレーション(廃熱)、水溶性天然ガス |
| 主な導入設備 | ガスコージェネ(都市ガス) 800kW×4台(うち2台他補助金申請予定) ガスコージェネ(温泉ガス) 25kW×4台 ジェネリンク 1,680kW×2台 NAS電池 800kW(200kW×4台) |
| 事業期間(稼働予定) | 2017年7月～2020年2月(2020年4月稼働予定) |
| 省エネ効果見込 | 省エネ量：663 kL/年、省エネ率：18.6% |

■ 事業イメージ



■ 事業の特徴

- 電気・冷熱・温熱・温泉を一括供給するエネルギーの地域基盤事業モデルで、民間の資本・経営ノウハウ・人材を最大限活かし、官が資本・補助金・信用により支援することで事業の採算性と持続可能性を確保
- 先進的ドイツのCEMSを日本で初めて導入、これと連動する需給管理システムを日本のノウハウにより独自開発、世界的に先導的なEMSを実現
- 日本初の亜熱帯での冷熱中心(本地区の場合「冷熱：温熱 = 5.7 : 1」)の大規模電熱併給事業で、冷熱供給の効率を高めるため、ターボ冷凍機に「グレート冷却塔システム」を世界で初めて導入
- 温泉・温泉付随ガス、再生可能エネルギーの導入による地産のエネルギーリソースの活用と、災害時のエネルギー安定供給(防災アリーナとの連動)

■ 導入効果

- 省CO2量(省CO2率)：3,722 t/年 (39.6%)

■ 面的利用概要

